

# なくす会 東西南北

## 雪中、2026年初の宣伝行動

●青森市の会

1月22日、消費税廃止東青各界連の宣伝行動に4団体から12人が参加しました。9人から署名が寄せられました。



## 過去最高の18人で宣伝、若い人との対話もはずむ

●福島県・郡山の会

福島県の会は1月26日、各界連と一緒に宣伝とアンケート活動。なくす会の服部雅事務局長は「総選挙では、財源に責任を持つていかを見極めよう」、県



労連の野木茂雄議長は「赤字国債に頼るのでなく、大企業・富裕層への行き過ぎた減税をやめれば財源はある」と訴えました。郡山の会は1月24日、過去最高の18人が参加して駅前で行われた原水協の行動からも合流があり、署名板が足りなくなるほど。あちこちで話し合う光景が見られました。若い人も良く話を聞いてくれ、「消費税いやだよね、と話しかけることが対話の糸口になる」と参加者の声でした。署名は17人が

賛同してくれました。

## 初詣の参拝客に訴え、露店商からも合いの手

●東京・江東区の会

1月4日、東京の会と同・江東区の会は江東区富岡八幡宮前で、消費税廃止江東各界連と合同で、総勢16人で初詣参拝客に訴えました。参拝客に向かって「景気回復は神頼みも結構だが、消費税を5%に減税すれば、すべての国民が恩恵に預かり、景気回復の何よりの力になる」と訴えると、そばの露店商の親父さんから「そうだ、頑張れ！」と激励の合いの手が入りました。参拝客からは「新年から頑張っているね。野党が一つになって減税を実現してほしい」「ご苦労さん、今年も頑張ろう」など激励の言葉が寄せられました。

## 若い男性が「減税は必要」と署名

●神奈川の会

1月20日、神奈川の会はJR東神奈川駅で4人で宣伝。総選

挙で、減税・インボイス廃止を公約する議員を増やそうと訴えました。宣伝の終わりごろ、若い男性が「減税は必要」と署名をしてくれました。



## 消費税全体の引き下げが必要と訴え

●三重の会

1月26日、消費税廃止三重県各界連と合同して、津市センターパレス前で、4人で宣伝しました。なくす会の大川事務局長は「いま政治は大きな分岐点。与党でさえ消費税減税を口にしてきました。消費税全体を引き下げた。消費税全体を引き下げた。恒久的な政策転換を実現しましょう」と訴えました。桑名駅前でも民商、新婦人、戦争法廃止をめざす市民の会から8人の